

コスタリカ内政・外交定期報告(2026年3月)

【ポイント】

外交

- グリンスパン氏の国連事務総長への正式推薦
- 米国・米州大陸15か国、「力による平和」原則にかかる共同宣言署名
- 米国主催、米州の盾首脳会合 (shield of the Americas summit) 出席

外交

● グリンスパン氏の国連事務総長への正式推薦
3月3日、大統領署名により、レベッカ・グリンスパン氏は2027年から2031年までの国連事務総長へ正式に推薦された。グリンスパン氏は国内で副大統領を務めたほか、国連開発計画(UNDP)副事務局長、イベロアメリカ会議事務総長などを務め、2021年からは国連貿易開発会議(UNCTAD)事務総長を務めている。

● 米国・米州大陸15か国、「力による平和」原則にかかる共同宣言署名
3月5日、米国および米州大陸15か国(アルゼンチン、ベリーズ、バハマ、ボリビア、エクアドル、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、トリニダード・トバゴ、ガイアナ、ジャマイカ、パナマ、パラグアイ、ペルー、ドミニカ共和国、コスタリカ)は、共同宣言に署名し、西半球における「力による平和」の原則を承認した。コスタリカからは、マリオ・サモラ治安大臣が出席。

● 米国主催、米州の盾首脳会合 (shield of the Americas summit) 出席
3月7日、米国トランプ大統領は、コスタリカ含む米国と関係の近い中南米12か国の首脳をフロリダに招き、米州の盾首脳会合 (shield of the Americas summit) を開催した。コスタリカからはチャベス大統領及びフェルナンデス次期大統領が出席。会合では「カルテル犯罪活動への対抗のコミットメント (commitment to countering cartel criminal activity)」の宣言に署名。